

公表: 2023年 8月 20日 職員8名

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスあすな

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		児童の来所時間が異なってもロールカーテンで区切ることでスペースを確保し落ち着いて参加できる工夫をしている。	今後も療育活動は仕切りで区切るなど工夫しスペースを確保していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	8			職員配置は多い方だと思う。1日の流れを細かく打合せし配置している。不足にならないよう役割を決め工夫している。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4		階段やトイレなどに手すりや安全柵などの配慮をしてバリアフリー化している。より良い環境づくりに取り組んでいる。	安全面においても十分配慮していきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			日々職員同士で話し合いや情報共有をしている。子どもたちへの目標設定も行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			保護者に療育内容のアンケートを取り要望など聞いている。	アンケートでいただいた声を大事にし、療育活動の向上や業務改善に努めていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			結果をまとめ、全体ミーティングを行った上で毎年公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8			研修などを通して改善している。行政書士の顧問から研修も受けている。	
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			積極的に研修を受講し、職員間で報告しあい資質向上への取り組みができています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者のニーズにも十分配慮して作成している。アセスメントに十分に時間を掛け、全職員で情報共有し計画を作成している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			独自のアセスメントシートを使いガイドラインに沿って行っている。今後も面談の時間を取り説明していきます。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			2か月前から計画し、職員間で十分な話し合いができています。毎月会議で企画立案の意見交換を行っている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			研修内容を参考にしたり、児童の状況に合わせて行っている。日々、振り返りを行い改善している。児童の状態や保護者のニーズを反映している。	これまで行ったプログラムの見直しも行っていきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			必ず2か月前からプログラムを計画し、きめ細かい内容を決めているよう準備している。	
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者と相談しながら必要に応じて個別対応を行っている。ミーティングで計画し作成している。		
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			毎日朝と昼にミーティングを行いプログラムの確認、担当決めや役割分担など細かい打ち合わせができています。全職員に翌朝までに共有を行っている。		

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			毎日、振り返りや気付いたことについてしっかりと共有している。出勤していない職員にも周知できるようにしている。	連絡事項の漏れがないよう十分注意し連携を取りたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			検証・改善に繋げ活用できている。当日中に必ず記録し共有している。療育内容によっては独自の記録も取り、児童の様子を保護者と連携に努めている。	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			1人1人の児童についてしっかりと話し合いを行っている。会議予定を決めて計画の見直しを行い適切に進めている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	8			ガイドラインに沿って行っている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		職員全体で参加、積極的な意見交換をし充実している。共有に努めている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			予定の確認を複数で行ったり、学校での送迎時担任の先生から様子を聞き、適切に連携をしている。	連絡事項の漏れがないよう十分注意し連携を取りたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4			通所児童がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			保護から希望があれば行っている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			必要に応じて対応している。	相談所を通して連携を取っている。保護者から相談を受けた際は寄り添って助言をしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			必要に応じて受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	3	事業所内の療育の充実に努めている。	事業所内の療育を充実させるためにプログラムを組んでいるため、今は考えていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	3	協議会は参加していないが、地域交流ができるイベントを開催した。	機会とタイミングがあれば考えていきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時や毎月家庭連携、電話連絡などで細かく行っている。	今後も保護者との連携を大切にして日々の活動の様子をお知らせするように努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	2	専門的な支援は行っていないが、共通支援が行える様努めている。	専門的なペアレントトレーニングは実地していない。
4	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			面談時間を多くとり説明している。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			毎月家庭連携を積極的に行い、保護者の悩みや気になる点を聞き支援している。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	2	「親の集い」を月1回設けているが、前年度はコロナなどのため未実施。	アンケート調査の結果をふまえ、「親の集い」内容や開催時期を検討している。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			職員全体が理解し、管理者を中心に対応するよう努めている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			ブログ更新やお便りで定期的に発信している。ホームページで保護者向けのページで写真を見ることができ、活動の様子を伝えている。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			個人情報は事業所内で保管、十分注意し管理している。シュレッダーも利用している。	
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			1人1人の特性を理解し配慮している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	1	ハロウィンイベントでは地域(町内会)の方々に協力をいただき、ごみ拾い等一緒に行っている。	今後も計画し行っていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			マニュアル参照・周知している。時間を作り内容を周知、理解を行っている。必要な訓練は実際に起きたことを想定し実施している。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年間行事計画で予定を決め行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			虐待防止マニュアル、虐待防止委員会の研修を必ず行っている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1			身体拘束をしなければならない児童は通所していない。事業所の意向をつたえ理解してもらっているが、該当する児童がいないため支援計画の記載はしていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			アセスメント時に確認し、おやつ提供等で毎回確認できるようリストを作成し、十分注意している。	
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			毎月の会議内で時間を作り、共有している。全体周知し再発防止に努めている。		

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。